

第二十五回慶應医学賞授賞式 鰐淵文部科学大臣政務官祝電

本日、第二十五回慶應医学賞の受賞の栄に浴されました宮脇敦史博士及びアヴィイヴ・レゲフ博士に対し、心から祝意を表します。誠におめでとうございます。

新しい生命科学の分野を切り開き、医学の発展に貢献する革新的な御功績を称えますとともに、これまでのお二人の御努力に敬意を表します。

宮脇敦史博士は、長年にわたる研究の中で、細胞内の活動を可視化する数多くの蛍光タンパク質などを独自に開発されました。

これらの技術は、世界中の研究者に利用され、疾病の病態解明や診断法開発などの先端基礎研究への応用に大きく貢献しています。

アヴィイヴ・レゲフ博士は、従来のように細胞を培養することなく、一細胞のみで遺伝子機能の解読を可能とするシングルセル解析技術の基盤を確立されました。

また、人体を構成する全細胞のカタログ化を目指すヒューマンセルアトラス計画を牽引されており、今後の更なる解析技術の発展が期待されます。

文部科学省といたしましては、これまでも、医学・生命科学分野をはじめとする様々な研究に積極的に支援を行つてまいりました。今後とも、お二人をはじめ研究者の皆様の更なる御活躍のために、研究支援を充実してまいります。

結びに、最先端の研究活動を支援してこられた関係各位に敬意を表しますとともに、本日受賞されたお二人の今後の更なる御活躍を祈念いたします。

令和二年十一月三十日

文部科学大臣政務官 鰐淵 洋子